

幸せを守るための税金

所沢市立東中学校

三年 金子 柚香

私は今まで、税金について深く考えたことはなかった。けれど今回、作文を書くことになって、税金について考えることになり、税金の大切さをより身近に感じるようになった。

中三の夏休み、税についての作文が宿題に出され、私は正直困っていた。税金について、あまり身近に感じるものがなかったからだ。なので、どんなことを書けばいいのかわからなかったため、まずは調べてみようかと、学校で貰った税についての冊子に載っていた国税庁のホームページを開いてみた。すると、小学生の頃に学校の税についての授業で見た動画があり、懐かしく思っ、それを見てもみることにした。小学生の頃は動画を見ても、税金を身近なものとして感じることはなかったが、中学生になった今、もう一度見てみると、日常生活の中にも自分の思っていた以上に、税に関することが多くあることに気がつくことができた。そのうちの一つが、医療費の補助についてだ。

幼少期より私は、色んなことで病院のお世話になっていた。小学生の頃は、春季カタルという重症型のアレルギー結膜炎で、眼科で専用の目薬を処方してもらって、治療していた。母は、「この目薬とても高いから、補助のおかげで助かってるよね。でも中学までしか補助ないから、大変だよな。」と言っていた。その頃は特に何も考えず聞き流していたが、改めて考えてみる

と、私の目薬は税の補助によってまかなわれていたのだろう。また、話は変わるが、最近では、受験生となり、いろんな高校を調べていくうえで、税のありがたさに気がつくこともあった。

学費についてだ。中学校までは義務教育で、気にせずいられた学費。だが、高校からは気にせずにはいられなくなった。公立もそうだが、私立の学校では特に学費が高く、それはもう、自分が桁を数え間違えているのかと何度も確認するほどだった。

税金について身近に考えてみると、他にもたくさん、いろいろな場面で私たちは助けられていて、税金には人々が安心安全快適に生活するための、役割があることに気がついた。今までは買物の時に消費税高いなと思ったことがあった税金。税のありがたさに気がついています、今まで子どもの私たちよりもずっと多くの税を払ってくれていた大人たちにも感謝の気持ちがあふれてくる。だから私は、自分のため、人のため、これからは税が高いなんて文句を言わず、今までの感謝と幸せへの一歩だと思っ税金を払っていきたいと思う。